

No.20

合同会社 石垣焼窯元

本格的な海外展開へ、
販売管理のシステムから足元を固める製造・小売
陶器の製造・販売統合型経営支援システム
結(ゆい) POSレジ(販売管理)

Profile

沖縄県石垣市名蔵1356-71

設立：2007年(創業は1999年)

従業員数：5名

- 石垣焼はガラスと油滴天目が施され、沖縄の海の色であるブルーを表現した焼物。代表社員・金子晴彦氏の父・金子恭雨氏が天目茶碗を奄美列島の観光財産にすべく立ち上げた「よろん焼」をルーツとする
- 英国の大英博物館に抹茶茶わんが常設展示されており、海外からの注目が高まる
- 自社店舗にて販売および体験教室の実施、委託販売先14か所

POSレジおよび
自動釣銭機入庫数に応じて、
簡単にプリントできる
値札バーコードシールの例

増加するお客様に
同じ人数で対応できるよう、
ITにお願いしたいことは
たくさんあります！

担当の工藤晴美氏(写真右)
お二人が身に付けているアクセサリは人気商品

課題、困りごとなど

- 1品モノから定番品まで200種類以上の商品を扱っている。自社店舗と販売委託先があり、正確な販売管理・在庫管理が課題になっていた
- 店舗の販売データは表計算ソフトでマクロを組んで管理していたが、慣れないスタッフによる操作ミスも起きていた
- 自社店舗では、団体旅行などでレジに顧客が集中することもある
- アート作品の海外展開を予定しており、通常業務の効率化が不可欠



IT活用による改革

導入のきっかけ

- OA関連のメンテナンス・サポートを依頼している地元の会社に課題意識を伝えていたところ、IT導入補助金が適用できると案内を受けた
- 一般的なクラウド型POSサービスではカバーできない独自業務もあり、カスタマイズが可能な「結シリーズ」に着目する

ITツールの特徴

- 販売・購買・製造・在庫・原価などをコンポーネント化したパッケージ型統合経営支援システム。データ連携するが、必要な分野から導入できる
- 顧客の要望に応じてカスタマイズに対応。また、すぐ使える形にセッティングして納品する
- 沖縄では台風で通信障害が発生することがある一方、建物は強固なので、通信を前提にしないパッケージ型を提供(データはクラウド上で見ることが可能)
- POSシステムと同時に自動釣銭機を導入。お金を入れると合計金額から自動計算しておつりが出てくる



現在の効果

- POSレジで売上を自動集計でき、販売管理作業が効率化
- 商品に貼るバーコード付値札シールの印字が容易になった
- クーポンの有無による金額の違いなど、レジに求められる独自要件に対応でき、使い勝手が良い
- 自動釣銭機とレジの連動により、現金の計算・集計作業がゼロに
- システムを委託販売先にも展開予定